

## 1999 年度第 1 回運営委員会議事録

---

日時:1999 年 8 月 31 日(火)

場所:東海大学 山中湖セミナーハウス(炉物理夏期セミナー会場)

出席者:青木(部会長), 相沢(副部会長), 小林, 阪元, 永瀬, 岩崎, 橋本, 三橋

(記)

議題(1) 秋の大会における「炉物理部会」パネルディスカッションについて

3 名のパネラーにより、「軽水炉による Pu 利用と炉物理の課題」をテーマとして、秋の大会 2 日目の 9/11(土)午後 13 時より開催されることが確認された。

議題(2) 2000 年春の大会における合同企画セッションについて

「BWR 核熱水力安定性研究の現状(仮題)」をテーマとし、炉物理・熱流動合同企画セッションとして開催を計画している。炉物理部会としては了承し、学会企画委員会に報告する。秋の大会中に開催される次回の総会で経緯および内容を報告する。

議題(3) 運営委員追加(学会炉物理部会担当企画委員と原研炉物理委員会委員長) について

学会企画セッションの計画立案の学会との調整や炉物理委員会との協調を目的に、両委員を運営委員会に追加する案が提案された。議事のなかで、学会編集委員の追加についても意見が出され、次回の総会で「炉物理部会」の規約改定として、提案することとした。なお、実施は来年度からを予定している。

議題(4) 加速器等に関する他部会との企画セッションについて

原研と高エネ研が進めている加速器計画について、加速器ビーム部会から、放射線工学部会と炉物理部会の共同セッションとして 2000 年春の大会に企画できないかとの話があった。2000 年春の大会では(2)の通りの計画となっている他、他の部会も計画が固まりつつあり、

共同セッションとしては開催できないこととなった。また、2000年秋の大会の企画セッションについては、今後、検討して行くこととなった。

#### 議題(5) 企画セッション等の講師謝礼について

他の部会では企画セッションの講師に対し、謝礼を出しており、今後、炉物理部会でも謝礼を出すこととした。なお、定額一万円を基準とするが、学会員以外等の特例は個々に検討することとした。

#### 議題(6) 共用標準炉物理コードシステム WG について

本年春の年会の炉物理部会パネルディスカッションで議論された掲記 WG の発足が承認され、小林啓祐氏からその内容が説明された。今後、メンバーを募り、コードシステムの仕様決めに取りかかる。今後のこの種の活動の例とすること、次回の総会で、WG グループメンバーの呼びかけを行うこととした。

#### 議題(7) 部会報「炉物理の研究(第 49 号)」の発行について

秋の大会の炉物理部会企画セッション「軽水炉による Pu 利用と炉物理の課題」の要旨と当日の講演内容を記載するため、通常秋の大会後に出している炉物理部会ニュースに替え、今回は、部会報を出すことが提案され、了承された。今後はどうするかについては、個々に検討することとした。

#### 議題(8) 次期の運営委員の候補について

今年度末に改選される運営委員について、次回総会で、自薦および他薦を募集することとした。それらが無い場合は従来通り、部会長からの推薦とすることとした。

#### 議題(9) その他

現在、学術研究交流小委員で 1 名がホームページ担当兼務となっているところを今後、ホームページ担当を専属で 1 名としたい旨の提案があり、了承された。(8)と合わせ、今年度末に選任する。

秋の大会 2 日目の 9/11(土)夜に開催される炉物理部会懇親会はまだ、定員に余裕があり、夏期セミナーおよび総会で参加の呼びかけを行うこととした。

次回の運営員会は秋の大会 1 日目の 9 月 10 日(金)12:00-12:45 に，南棟 3 階 LL 教室で開催することとした。